# Aterm WH832A/WH862A お使いになる前に





本商品のマニュアルは、本書の他に Web サイトに掲載している「機能詳細ガイド」があります。 下記より、サポートページを参照してください。(2019年3月現在)

> サポートページ WH832A http://www.aterm.jp/bb-support/832a/



技術基準適合認証品

WH862A http://www.aterm.jp/bb-support/862a/



本書は、読んだあとも大切に保管してください。

# 安全にお使いいただくために必ずお読みください

ここでは、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使 いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は 次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

# 本書中のマーク説明

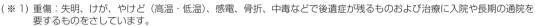


:人が死亡する、または重傷(\*1)を負う可能性が想定される内容を示 しています。



のみの発生が想定される内容を示しています。 :本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容

:人が軽傷(※2)を負う可能性が想定される内容、および物的損害(※3)



を示しています。

- (※2)軽傷:治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをさしています。
- (※3)物的損害:家屋、家財および家畜、ペットなどにかかわる拡大損害をさしています。

### 図記号の説明

■ 警告・注意を促す記号











■ 行為を禁止する記号



水ぬれ禁止





使用禁止

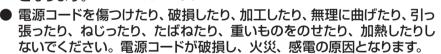


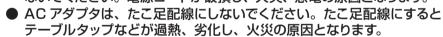
電源プラグを 一般指示 コンセントから抜け

■ 行為を指示する記号



- 日本国内 AC100V(50/60Hz)の家庭用電源以外では使用しないで ください。差し込み口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気 製品の AC アダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセン トの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原
- AC アダプタのプラグケーブルはケーブル止めに通して固定し、本体で ケーブルを踏まないように注意してください。火災、感電、故障の原因 となります。 ※ WH862A のみ





- AC アダプタおよび電源コードは、必ず本商品に添付のものをお使いく ださい。また、本商品に添付の AC アダプタおよび電源コードは、他の 製品に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 本商品に添付の AC アダプタおよび電源コードは、必ず一体で使用し、 他の AC アダプタや電源コードを組み合わせて使用しないでください。
- AC アダプタにものをのせたり布を掛けたりしないでください。 過熱し、 ケースや電源コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となります。
- AC アダプタは風通しの悪い狭い場所(収納棚や本棚の後ろなど)に設 置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。 また、AC アダプタは電源コンセントの近くに設置し、容易に抜き差し 可能な状態でご使用ください。
- AC アダプタ本体が宙吊りにならないように設置してください。 電源プ ラグと電源コンセント間に隙間が発生し、ほこりによる火災が発生する **か**可能性があります 可能性があります。

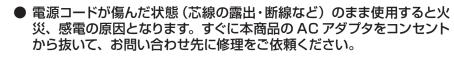
# **こんなときは**(本体および AC アダプタ)

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用する と、火災、感電の原因となります。すぐに本商品の AC アダプタをコン 🖊 セントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、お問い 合わせ先に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから 絶対におやめください。
- 本商品をぬらさないでください。ぬらした場合は、すぐに本商品のAC アダプタをコンセントから抜いて、お問い合わせ先にご連絡ください。 そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物 を差し込んだり落としたりしないでください。万一、異物が入った場合 は、すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、お問い合わ せ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因 となることがあります。特にお子様のいるご家庭では、ご注意ください。











● 本商品を落とさないでください。落下によって故障の原因となったり、 そのまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。万一、本 商品を落としたり破損した場合は、すぐに本商品の AC アダプタをコン セントから抜いて、お問い合わせ先にご連絡ください。



### 禁止事項(本体および添付品)

本商品は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接関わ る医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム(幹線通信機器 や電算機システムなど) では使用しないでください。 社会的に大きな混 乱が発生する恐れがあります。



● ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の 原因となります。



● 本商品の内部や周囲でエアダスターやダストスプレーなど、可燃性ガス を使用したスプレーを使用しないでください。引火による爆発、火災の 原因となります。



● 本商品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となり ます。



● 光ファイバケーブルの先端部は光ビームが発生しています。 光ファイバ ケーブルの先端を直接覗き込まないでください。本商品に電源が投入 されている間は、光コネクタ部を裸眼または光学機などを介して覗かな いでください。万一、覗き込んだ場合、目に障害が発生する恐れがあり ますので、ただちに医師の診察をお受けください。



# その他の注意事項 (本体および添付品)

● 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商 品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の 原因となります。



● 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペース メーカなどの近くに設置したり、使用したりしないでください。電子機器 などが誤動作するなどの原因となることがあります。また、医用電気機器 の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。



● 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでく ださい。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱 が発生する恐れがあります。



本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容 器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入った」 場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。



● 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はし ないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。



● ペットが電源コードなどをかじったり、ひっかいたりしないように、電源 コードカバーやコンセントカバーを利用してください。電源コードが破損 し、火災、感電の原因となります。



● 水や飲料水、ペットの尿などでぬらさないでください。火災、感電、や けど、けがなどの原因となります。



# 設置場所(本体および添付品)

・本商品の上にものを置く

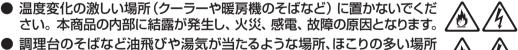
● 本商品は温度 0 ~ 40℃、湿度 10 ~ 90%の結露しない環境でご使 用ください。



● 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、 温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の 原因となることがあります。



● 温度変化の激しい場所(クーラーや暖房機のそばなど) に置かないでくだ さい。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。



に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。 ● 本商品は前後左右 5cm、上 15cm 以内に他の機器や壁などがない場

所に設置してください。壁掛けの場合は壁掛け面を除きます。



● ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでくだ さい。また、本商品の上に重いものを置かないでください。バランスが くずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



● 本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると 内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、本商品の 🖊 💆 周囲に十分なスペースを確保してください。



● 通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火 災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。 ・収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む

・じゅうたんや布団の上に置いたり、テーブルクロスなどを掛ける



● 大きな衝撃や振動などが加わる場所には設置しないでください。また、 垂直面以外の壁や天井などには取り付けないでください。振動などで 2 落下し、故障、けがの原因となります。



● ベニヤ板などのやわらかい壁には設置しないでください。確実に固定で きる場所に設置してください。ネジが外れ本商品が落下し、故障、けが の原因となります。



● 本商品と電話機を接続するコードは絶対に屋外を通さないでください。 雷などによる障害の原因となります。



# 注

### 電源

- 本商品の電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くと きは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張る とコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品の電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的(半年に1回 程度)に取り除いてください。火災の原因となることがあります。
- 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ず AC アダプタをコンセン トから抜いてください。感電の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、本商品の AC アダプタをコンセントから抜き、外部 の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、 感電の原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の AC アダプ 夕をコンセントから抜いてください。
- 本商品の使用中や使用直後に AC アダプタが高温になる場合がありま す。やけどなどの恐れがありますので注意してください。





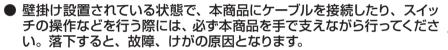
## 禁止事項(本体および添付品)

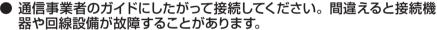
- 本商品に乗らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注 意ください。壊れてけがの原因となることがあります。
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器を接続したりしない でください。落雷による感電の原因となります。



# その他の注意事項(本体および添付品)

- 本商品は動作中に高温になる場合があります。本商品の移動や取り外し の際には、ご注意ください。
- 使用中は本商品および AC アダプタが熱くなることがありますが、 手で 触れることができる温度であれば故障ではありません。ただし、長時間 触れたまま使用しないでください。低温やけどになることがあります。









# **設置場所**(本体および添付品)

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のようなところへの設置は避けてください。
  - ・振動が多い場所
  - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  - ・電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所 (電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコ ン、電磁調理器など)
  - ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどの近くで使用すると、コードレス電話 機の通話にノイズが入ったり、テレビ画面が乱れるなど受信障害の原因となることが あります。このような場合は、お互いを数 m 以上離してお使いください。
- ▶ 本商品と無線 LAN 端末 (子機) の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する 場合があります。このような場合は、お互いを 1m 以上離してお使いください。
- 本商品を壁掛けで使用する場合、同じ場所に長期間設置すると、壁紙が変色(色あせ) する場合があります。

# 禁止事項(本体および添付品)

- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作し ないことがあります。
- 動作中に接続コード類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。 動作中は、コネクタの接続部には触れないでください。
- 本商品の電源を入れたあと、すぐに電源を切らないでください。60 秒以上の間隔をあ けてから電源を切ってください。すぐに電源を切ると故障の原因となることがあります。
- 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。 10 秒以上の間隔をあ けてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らなくなることがあります。

# 日ごろのお手入れ(本体および添付品)

- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の 原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくし ぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。ただし、コネクタ部分 は、よくしぼった場合でもぬれた布では絶対にふかないでください。
- 水滴がついている場合は、乾いた布でふき取ってください。

# その他の注意事項(本体および AC アダプタ)

- 通信中に本商品の電源が切れたり、本商品を取り外したりすると、通信ができなくな りデータが壊れることがあります。重要なデータは元データと照合してください。
- 本商品プラスチック部品の一部が、光の具合によってはキズのように見える場合があり ますが、構造上および機能上は問題ありません。

# 無線 LAN に関する注意事項

- 無線 LAN の規格値は、本商品と同等の構成を持った機器との通信を行ったときの理 論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
- 本商品は他社製品との相互接続性を保証しておりません。
- 無線 LAN の伝送距離や伝送速度は壁や家具・什器などの周辺環境により変動します。
- 5.2GHz、5.3GHz 帯域の屋外での使用は電波法により禁止されています。

# 「クイック設定 Web」ご使用時の注意事項

●「クイック設定 Web」による設定により、データ通信/通話が途切れる場合がありま す。また、本商品の再起動を伴う場合、データ通信/通話が中断されます。

### 電話に関する注意事項

● ご使用になる電話機は電気通信事業法の認証表示(技適マーク)「☞」または「☞」が ついているものをご使用ください。本商品の電話ポートは疑似的にアナログ電話回線 と同等の環境を作っています。実際のアナログ電話回線とは異なるので通信機器に よっては使用できない場合があります。また、本商品の電話ポートには電話機のブラ ンチ接続はできません。

### 無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と本商品間で情報のやり取りを行うため、電 波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行って いない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報

メールの内容

等の通信内容を盗み見られる可能性があります。 ●不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、 個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)

特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)

傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)

コンピュータウィルス等を流しデータやシステムを破壊する(破壊)

等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記 問題が発生する可能性は少なくなります。 セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客さま自身の判断と責任においてセキュリティ

に関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。 セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまっ た場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

なお、無線 LAN をより安全にお使いいただくために、本商品の暗号化キー、PIN コードは定期的に変更することをお奨めし ます。変更は、クイック設定 Web で行います。暗号化キーは「無線 LAN 詳細設定」、PIN コードは「WPS 設定」の画面で変 更してください。

# 本商品で使用しているソフトウェアについて

本商品で使用しているソフトウェアのライセンス条文は、サポートページに公開されている「機能詳細ガイド」を参照してくだ

# 電波に関する注意事項

- 本商品は、技術基準適合証明を受けています。
- IEEE802.11ac、IEEE802.11n (5GHz 帯)、IEEE802.11a 通信利用時は、5GHz 帯域の電波を使用しております。 5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。
- 5GHz 帯で使用するチャネルは 36, 40, 44, 48ch (W52) と 52, 56, 60, 64ch (W53) と 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch (W56) です。無線LAN アクセスポイント(親機)としては、従来の IEEE802.11a で使用の34,38,42,46ch (J52) の装置と IEEE802.11a モードでの通信はできません。

IEEE802.11a/n/ac J52 W52 W53 W56 ・W52 (5.2GHz 帯 /36,40,44,48ch)、W53 (5.3GHz 帯 /52,56,60,64ch)、 W56 (5.6GHz 带/100,104,108,112,116,120,124,128,132,136, 140ch) が利用できます。

5GHz 帯で接続する無線 LAN 端末(子機)は、以下の表示があるものを推奨します。

- · W52 (5.2GHz 帯 /36,40,44,48ch) · W53 (5.3GHz 帯 /52,56,60,64ch)
- · W56 (5.6GHz 带 /100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch)
- W53(52,56,60,64ch)またはW56(100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch)を選択した場合は、 法令により次のような制限事項があります。
  - ・各チャネルの通信開始前に、1分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
- 通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。 ● IEEE802.11n(2.4GHz 帯)、IEEE802.11g、IEEE80211b 通信利用時は 2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この
- 周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許 を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す) が運用されています。
  - (1) 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。 (2) 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使
  - 用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。 (3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、お問い合わせ先にお問い合わせください。
- IEEE802.11n(2.4GHz 帯)、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であ り、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、与干渉距離 は 40m です。

2.4 DS/OF 4

: 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す 2.4 DS/OF: DS-SS 方式および OFDM 方式を示す

: 想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す

: 全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味 する

- デュアルチャネル (HT4O) を利用する場合は、同一周波数帯を使用する他の無線局に対して干渉を与える可能性があります。 デュアルチャネル (HT40) を「使用する」に設定する場合には、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与 えないことを事前にお確かめください。
  - 万一、他の無線局において電波干渉が発生した場合には、すぐに「使用しない」に設定を変更してください。

# 電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用 することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に 近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

# 輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、 弊社は一切責任を負いません。また、弊社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。 本製品の輸出(非居住者への役務提供等を含む)に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法等をご確認の上 必要な手続きをお取りください。

ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、通信事業者のお問い合わせ窓口にご相談ください。

# ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一、ご不審な点や誤り ・記載もれなどお気づきの点がありま したらご連絡ください。
- (4) 本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害な どの純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (5) セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生して しまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (6) せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態(例えば落雷や漏電など)により故障してしまっては能力を発揮できません。 本書の内容をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。
- Aterm は、日本電気株式会社の登録商標です。 ■「QR コード」は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- ■その他、各会社名、各製品名およびサービス名などは各社の商標または登録商標です。

© NEC Platforms, Ltd. 2019 NECプラットフォームズ株式会社の許可なく複製・改版、および複製物を配布することはで